



市販の豆腐では味わえない美味しさ  
～ 自家製豆腐で健康と豊かな食生活を～

株式会社 MEテック  
代表取締役社長 牧野好高

株式会社MEテックは1997年創業の若い会社です。しかしわずか10年余りの間にフード業界の皆様には大きな貢献が出来た事を大変うれしく思い、また感謝をしている次第です。当社の主力製品である業務用豆腐製造機「豆腐王」が日本全国の手居酒屋チェーン・ホテル・旅館・各種料理店などに既に5000台普及してご愛顧いただいている事実が当社の誇りです。



業務用豆腐製造機「豆腐王」

一度味わっていただくと、たちまちその美味しさでとりこになってしまう当社自家製豆腐の秘密は、吟味された材料から美味しさを引き出す製法まで一貫して流れる「最高の品質を手軽に作る」ための

こだわりのオリジナル技術です。

「豆腐王」はジュール熱による均一な加熱方式と独自のセンサーを使って3kgの豆腐を20分で作ることが出来ますが、更に多くのお客様に手軽に楽しんでいただけるようATAC様の協力を得て1～2丁の豆腐を僅か5分間で作れる普及タイプの新製品を開発中です。健康で豊かな食生活に当社の豆腐製造器と豆乳をぜひお試しください。



株式会社 MEテック  
〒532-0027 大阪市淀川区田川1丁目11番13号  
TEL. 06-6886-2255 (代表)  
FAX. 06-6886-2274  
URL: <http://www.tofuou.com>

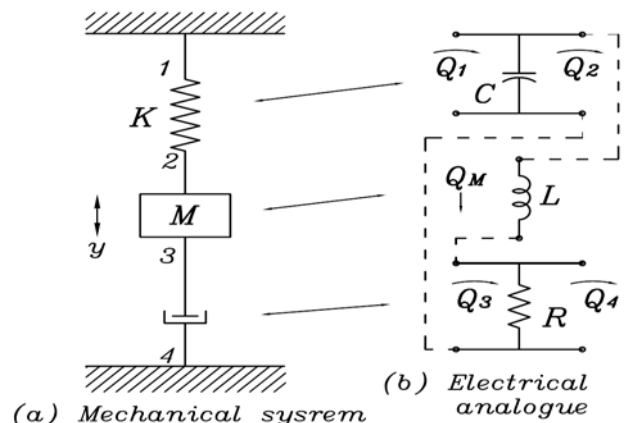
ATAC ひと言 中小企業の専門教育 ATACが指導できる専門分野シリーズ

その3 「機械技術者のための電気」

多くの優れた機械技術者も電気と言うと途端に思考が停止するといった経験をされたことはないだろうか？ 殆どの方は子供の頃、豆球を乾電池で点灯させた経験をしていると思う。以後難関の試験を乗り越え電気以外の専門家となると、電気はチンプンカンプンと自他共に認める人も少なくない。これって何故そうなるのだろうと筆者は機械やに電気を教える時、疑問に思った。電気が嫌いの相手に、電気が好きになる手法が無いかと、ふと学生時代に学んだ自動制御の古い文献を再読すると、あるページで瞬間目から鱗が落ちる経験をした。

それは右図1のようなバネK、重りM、ダンパーfの振動系を電気部品要素で等価的に表した図である。図から機械やさんは位置の変化量(y)を変数として要素形状記号で式を構築している。対して電気は形状変化でなく目に見えない電荷(クーロン: Q)を変数として部品機能記号で表記している。外形・外面的変化で理解する機械技術と、外形等の変化はないが、各要素が果たす内容(意味)で理解する電気技術の特徴があることに気づいた。電気を学ぶ場合、まず頭に描くことは形・寸法等外形的なこと即ち表形(筆者の造

語)で理解せず、電圧・電流・電荷が成す現象、即ち表意(筆者の造語)で理解して学習することを勧めている。以後、こうした指導法が役立つ場面を多く経験した。(三原記)



$$M \cdot \frac{d^2 y}{dt^2} + f \cdot \left( \frac{dy}{dt} \right) + Ky - 0 \quad L \cdot \left( \frac{di}{dt} \right) + Ri + \frac{1}{C} \int i dt - 0$$

$$L \cdot \frac{d^2 Q}{dt^2} + R \cdot \left( \frac{dQ}{dt} \right) + \frac{Q}{C} - 0$$

図1

参考文献：  
George J. Thaler/Servomechanism analysis/1953